シネマズライフ

2016年2月19日発行 第98号　http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹（たかぎ） 涼音（りおん）

【最近のこれはお見事！】『断食芸人』　芸人のお笑い中心映画かと思いきや、フランツ・カフカの短編小説の映画化だそうです。カフカの描く芸人のお話のようで意味は深そうだ。

【最近のこれはまずいぞ！】『Mr.ホームズ 名探偵最後の事件』　コナン・ドイルが生きていたら【著作権料】で巨万の富を得ただろう《ホームズ映画》。今度は93才のホームズが過去の事件を解決するお話。しかし、薬漬けで傷だらけの王道を行くホームズが93才まで長生きするとは思えんが。

映画の風景　日本の風景

※ 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール ※

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール→

『ファール・プレイ』という映画があった。こんな映画だ。

サンフランシスコ郊外。離婚したばかりのグロリアは友人のパーティに出席するが、やはり気分がすぐれない。しかし、友人に彼氏を作る事を進められるが変な男に声を掛けられて早々にパーティを引き上げる。車を走らせていると、車が止まっており男が助けを求めているので乗せる事に。男の名前はスコッティ、話が弾みその夜映画を一緒に見る事にし、彼は自分はタバコが止められなくて困っているので預かってくれと頼まれる。

その夜、映画館で待ち合わせるがスコッティは時間には現れない。ところが上映中に現れ「こびとに気をつけろ」と言い残しグロリアの前で死んでしまう。驚いたグロリアは、すぐ通報し映画は中止。しかし、席に戻るとスコッテは忽然と消えていた！支配人も話を信じてくれず、グロリアも困惑する。翌日、白い髪の男が動め先に現れ彼女を襲う、そこで偶然出会ったスタンレーに助けを求める…。

ところがその夜・家に帰ったグロリアを顔に傷の入った男が襲い、思わず殺してしまう。しかし、警察が駆け付けた時にはまたもや死体は消えていた…。

キュートでかわいい女優。昔はアメリカ映画にはそんな女優がいたが、今のアメリカ映画ではお目にかかれない。そんな女優のゴールディ・ホーンが実にかわいい。

『ファール・プレイ』1978年　アメリカ　監督 脚本：コリン・ヒギンズ
出演：ゴールディ・ホーン チェヴィー・チェイス ダドリー・ムーア レイチェル・ロバーツ ブライアン・デネヒー

冴かとグローリアと関わるスタンレーを演じるダドリームーアはイギリスではジャズピアニスト＆コメディアンで、この作品でハリウッドデビュー。その後次々とヒット作に出演した。

琵琶湖のほとりに立つ劇場《びわ湖ホール》は、日本でオペラが見られる劇場。映画もオペラが重要な舞台になっており、事件が起こっては困るが、びわ湖のほとりで素晴らしいオペラが見れるとなると一度は訪ねてみたい場所でもあります。

コラム

アメリカだって意地があるんだぜ！という件

先日、にわか天文ファンの私としてはうれしい話題が報道された。太陽系に9番目の惑星が存在するという【証拠】が見つかったというのだ。

その星は【Planet Nine】と言われており、なぜ今まで見つからなかったのかというと、あまりにも遠く1万～2万年かけて太陽を回っている事。現在惑星として最も遠い海王星の公転周期が約164年だから、惑星かい？って思う所もあるが、質量・大きさが地球の5～10倍の質量を持ち、直径は2～4倍。確かに太陽を回っているから確認されると《大発見》だろう。

実は、アメリカがなぜこの【Planet Nine】発見に躍起！になっているかというと、唯一惑星としてアメリカ人のクライド・トンボーが発見した【冥王星】が、《準惑星》と認定されてしまったからだ。

理由は質量と大きさ等の一定の規定から外れているからだそうで、国際天文学連合（IAU）の決議参加者が少なかったが決定されてしまったという。

それゆえ、遠いとはいえ、質量・大きさ共文句のない【Planet Nine】でいいだろう！という訳ではないだろうが、アメリカの学者達には気合いの入る状態。

今、日本の国立天文台ハワイ観測所すばる望遠鏡で発見できるのでは？っと期待されており、もし、発見されれば日本も貢献した事になり、ぜひ・頑張ってほしいものです。

↑ ニュー・ホライズンズは2006年1月19日14時00分（EST）に冥王星へ打ち上げられた。

↑ 冥王星と カロン（右下）。地球と月（左上）も示した。それぞれの天体間の距離は正しくないが、大きさの比率は正しく描かれている。

↑Wikipediaを参考にさせていただきました。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『セーラー服と機関銃[完璧版]』

日本映画専門チャンネル

1981年　日本

監督：相米慎二　原作：赤川次郎

出演：薬師丸ひろ子 渡瀬恒彦 風祭ゆき 三國連太郎 大門正明 酒井敏也 柳沢慎吾 光石研 柄本明 佐藤允 北村和夫 寺田農

2月23日（火）21:00
3月5日（土）25:30 ⇒ 3月6日（日）1:30
3月20日（日）9:00　3月24日（木）21:20

高校生の星泉の父が交通事故に遭って死んだ。母も亡くなっていた泉は一人ぼっちに。ところが、家に帰ると父の愛人だというマユミがおり、自分がいなくなった時は泉の面倒を見てくれと頼まれたという。彼女と住む事になったがすっきりしない。

泉が学校に登校した日。門の前に大勢の男達が並び大騒ぎに、なんと泉を迎えに来たという。佐久間という男に話を聞くと《目高組》の先代が亡くなり、身内に跡目を継いでほしいとの遺言があり、やっと血縁の泉の父を見つけたが亡くなっており、泉に四代目組長を襲名してほしいと言うのだ。当然、泉は困惑するが…。

相米慎二監督が演出し、映画史に残る名作となった。一方、原作本の宣伝で当時としては破格の宣伝費３億円をかけ【角川商法】の面目躍如となった。

また、薬師丸ひろ子が女優としての片鱗をみせた映画でもあります。

『時をかける少女』

日本映画専門チャンネル

1983年　日本

監督：大林宣彦

原作：筒井康隆

出演：原田知世 尾美としのり 高柳良一 岸部一徳 根岸季衣 内藤誠 入江若葉 高林陽一 上原謙 入江たか子 きたむらあきこ

2月24日（水）21:00　3月6日（日）11:20
3月8日（火）18:40　3月12日（土）18:05
3月19日（土）26:35 ⇒ 3月20日（日）4:35

高校１年生の芳山和子は放課後、当番で同級生の堀川吾朗・深町一夫と理科教室の掃除を始める、が二人が不在中隣の実験室で物音がするのでのぞいてみると誰もいない。しかし、白い煙が立ち不思議な匂いがし気を失ってしまう。気が付き、吾朗と一夫と実験室に行くとおかしなところはない。

そして月曜日、その夜・地震が起こり、吾朗の近所の家が火事が起こり、和子と一夫が駆けつける。結局、何事もなく翌日、登校中一夫と歩いている時、二人の頭上に瓦屋根が落ちてくる…、がそこで和子はベッドの中で目が覚める。夢だったと思い、学校へ向かい吾朗に地震の事を話すと、吾朗は地震はなかったという。また、雰囲気がおかしく、授業も月曜日の授業同じで驚く…。

少年少女向け小説のＳＦ小説を大林宣彦の独特な映像美と世界観で描く。原田知世のかわいさと共に記憶に残る映画となっています。

『地獄門』

1953年　日本

監督 脚本：衣笠貞之助

原作：菊池寛　音楽：芥川也寸志

出演：長谷川一夫 京マチ子 山形勲 黒川弥太郎 坂東好太郎 田崎潤 千田是也

平安時代末期。実力者・平清盛が厳島詣の為、京都を離れたところ、武士達が反乱を起こし、京都は混乱した。御所は焼き討ちに遭い、上皇と妹の上西門院は身代わりを立てて危機を脱した。身代わりになったのは袈裟御前。守るのは、平氏の武士・盛遠。やっと袈裟御前の兄の元に送り届けた際、美しい袈裟御前を見て一目ぼれしてしまう。

やがて、乱は鎮圧され、清盛は盛遠になにが褒美ほしいかと尋ねると盛遠は「袈裟御前を」と願うが、実は袈裟御前は、御所の侍・渡辺渡の妻だった。

しかし、袈裟御前の美しさが忘れられない盛遠は、事あることに渡辺渡に戦いを挑み、清盛の機嫌を損ねる。

しかし、それでも盛遠は、あきらめきれず、渡辺渡の屋敷に乱入、「自分の言う事を聞かないと夫の渡辺渡を殺す」と迫る。驚いた袈裟御前は、やがてある決心を盛遠に告げる…。

【煩悩】と【愛】という人間が逃れられない《性》を考えさせられる映画だ。

大映にとって初の総天然色映画で、イーストマン・カラー方式の日本初作品。第7回カンヌ国際映画祭でパルム・ドール、第27回アカデミー賞で名誉賞と衣裳デザイン賞を受賞。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_)m 貴樹諒音

☆次回発行は3月4日。発行予定第一・三金曜日です。

【編集後記】

☆波乱の年は収まらず、今月は国会議員が次々と揉めだしてイライラ人捕まってる。清原のわるーい覚せい剤特捕！とのメンバーの逮捕！とされもれた宮崎容疑者は、院議員の何かの不倫辞職。イ

シネマズライフーcinemaz-lifeー ９８号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

《日本映画専門チャンネル》
『セーラー服と機関銃[完璧版] 』
『時をかける少女』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.